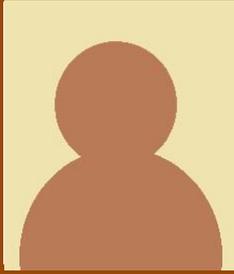


# 建築積算士試験に合格して

お名前の五十音順に掲載しました



安藤孝樹さん

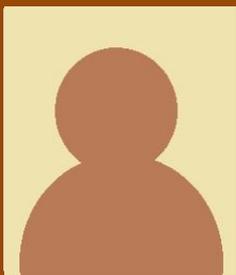
株式会社セキサン

建築積算の業務に携わり、25年ほど経ちましたが、積算士については仕事や家庭の時間に追われ、なかなか資格を取得する機会がなかったのですが、転職を機にこの度、建築積算士の受験に挑む事となり、無事合格する事が出来ました。

建築積算士の受験に関しては、建築士を持っていましたので二次試験からの受験でしたが、50歳を超えてからの受験勉強、また現在、携わっている積算業務が主に仕上積算の為、構造の方に不安がありましたが、会社をあげて受験に対して協力して頂き、忙しい業務の中、試験の1か月前から毎週1回、約1時間程度の講習(主に構造)を設けてもらい、そのお陰で合格する事が出来たと思います。並びに会社の方々、特に講師役をしていただいた方には大変感謝しております。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

今後は建築積算士の合格を機に、日々の業務において今まであまり携わっていなかった構造の方にも視野を広げ、会得した積算知識を活かして行けたらと思います。

またこの度、建築積算士に合格しましたが、近いうちにはコスト管理士の資格取得にも挑戦していきたいと思います。



佐藤香鈴さん

株式会社NEO(ネオ)積算事務所

私は工業高校を卒業し現在、積算事務所で勤めています。

高校時代に、建築積算士補の資格試験のポスターを見て「積算士」という職業を知り、元々数字に強く細かい作業が得意だったため積算士を目指しました。

まず、積算の基本となる積算基準や考え方について上司に教えていただきました。一つ一つ細かい基準が多く、覚えるのに苦労しましたが、ここを押さえておかなければスタートラインにもたてないためガイドブックを何度も読み返しました。また過去問を何度も解き、間違えたら直しをすぐ行いました。少しでも自分の中で自信をつけたかったためです。当日は、非常に緊張していましたが、今まで勉強してきたことを十分に活かし自分のペースで問題に取り組むことができ無事合格しました。

資格を取得したからといって一人前の積算士になったというわけではありません。実際に実務を行っていくうえで試験の内容以外のことがほとんどであり、なかなかうまくいかないことが多々あり、これが経験の差だなどつくづく感じます。しかし、積算業務のやりがいや魅力は多いと思います。例えば、業務を担当するたび確実に専門的な知識と経験が身につく、自分の成長を実感できることころや大きなプロジェクトの根幹を担えるところなど様々です。

今回、「積算士」を取得したことが今後の良いモチベーションにつながっています。資格を取得したということに満足せず、得た知識や考え方を実際の業務で活かしたいと考えています。そのためには専門的知識をさらに増やし、活躍できるように努めていきます。



## 島田夏音さん

岩田地崎建設株式会社

この度は建築積算士の資格付与並びに、日本建築積算協会北海道支部の合格者紹介コラム執筆の機会を設けて頂きありがとうございます。建築積算士を受験した経緯と将来の目標について書かせて頂きます。

私は以前、建築積算事務所に勤務しておりました。依頼された物件の図面を沢山見ていくうちに積算をより深く学びたいという意欲が溢れてきました。昨年岩田地崎建設に転職致しました。幅広く積算業務を学ぶことができ、日々楽しく業務に取り組んでおります。

建築積算士を目指すきっかけは、昨年リモートにて開校されました積算協会主催の建築積算学校を受講したことです。

以前の職場では設計図に表記されているものを拾う業務は経験しておりましたが、積算業務は拾い作業の他にもコスト管理など多岐に渡るので、建築積算を幅広く学ぶ必要があると考えた為でもありました。

各支部の講師陣の皆様から、各工種の拾い方の他に工事費の仕組から代価表の作成作業までわかりやすく教えて頂きました。特に鉄筋の拾い方は、定着や継手の考え方などが今まで全く分からなかったのですが、配布されたスライドで図面の読み取り方や定着長さや拾い方のイメージが湧き、苦手意識を克服することが出来ました。演習時間では、本番さながら2次試験の過去問題を実際に解く時間がありました。最初は難しかったのですが、徐々に正答率も上がり、さらに一発で建築積算士に合格したいという強い気持ちが芽生えてきました。

将来の目標は、設計図に表記されていない項目も正確に内訳に反映させていけることです。まだまだ未熟者ではありますが、正確な内訳を作成できるよう益々視野を広げ、積算学校での学びを生かし、反映させた内訳を作成していきたいです。

最後になりますが、建築積算士を受験するにあたりご助言頂いた皆様に感謝申し上げます。これからも感謝の気持ちを忘れずに日々精進します。